

ニホンザルT1群被害防止対策のさらなる充実を求める要望書

湯河原町のニホンザルT1群による被害は長年に渡り続いており、令和7年7月25日、湯河原町議会から神奈川県知事へ「ニホンザル被害防止対策の充実を求める意見書」を提出するとともに、神奈川県議会議長へ同内容の要望書を提出いたしました。

貴議会におかれましても、令和7年12月2日の本会議の代表質問においてニホンザル被害対策について取り上げられ、湯河原町における被害の深刻な実態が指摘されるとともに、問題個体群の全頭捕獲を含む実効性ある措置の必要性が訴えられたと認識しております。

その後、湯河原町では、令和7年の被害状況を把握するため、令和8年2月から4月にかけて再度、全町民を対象とした生活被害状況調査を実施し、その結果によると、市街地を中心に威嚇・噛みつかれる・追いかけられるなどの人的被害、作物等の略奪被害、器物破損、家や店などへの侵入による被害も収束しておらず、住民の日常生活への影響も深刻化しております。

さらに、湯河原町は観光を基幹産業とする温泉地であり、旅館等の宿泊施設が多くあることから、観光客の安全確保のため露天風呂の閉鎖や侵入した室内の消毒を余儀なくされるなど、観光産業へ影響を及ぼしております。

神奈川県におかれましては、加害個体の認定要件を以前より緩和するなどの対応をいただいていることは承知しておりますが、現在実施されているニホンザルT1群の追い払いや一部の加害個体の捕獲では、効果が限定的であり、残念ながら問題の解決には至っておりません。

湯河原町議会といたしましては、地域住民の安全はもとより、基幹産業への影響も鑑み、ニホンザルT1群の早急な全頭捕獲が必要だと再認識しております。

よって、貴議会におかれましては、ニホンザルT1群について全頭捕獲を前提とした措置を速やかに実施するよう、引き続き、神奈川県に対して強く働きかけていただくよう要望いたします。

令和8年6月23日

(提出先)
神奈川県議会議長 杉 本 透 様

神奈川県足柄下郡湯河原町議会
議長 室 伏 寿美夫